

# 全国学力・学習状況調査結果について

4月22日に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。調査は国語・算数の2教科です。どちらも知識に関する問題Aと知識を活用して答える問題Bで構成されています。また、「児童質問紙」により学習状況も調査しました。

## <国語>

問題は、A・Bそれぞれ「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の力をみる4観点から出題されました。

本校の児童は、問題B「書くこと」では、記述式の問題で正答率が低い傾向でした。また、「読むこと」の問題にも課題がみられました。設問が長文のため、正しく読みとれていないようでした。

## <算数>

問題Aは、「数量や図形についての技能」「知識・理解」から出題されました。問題Bは、「技能」「知識・理解」に加え「数学的な考え方」の力をみる3観点から出題されました。

本校の児童は、国語に比べ算数の平均正答率は高く、問題Aは平均正答率に近い結果となりました。一方で活用問題Bに課題がみられました。問題Bは、13問中5問が数学的な考え方をみる記述式の問題でした。そのためか、何も書かなかつた児童と正しく書けなかつた児童の割合が問題Aより高くなりました。学習内容の領域でみると、「図形問題」の正答率は、高い方でした。

「児童質問紙」からみえてくる児童の生活や学習意識の傾向は、次のようでした。

## <生活>

○起床時刻は決まっている家庭が多く、86%の児童が朝食を食べています。しかし、就寝時刻が決まっていない家庭がおよそ4分の1近くあり、健康面からも課題があります。

○家の人と学校での出来事について話している児童が多く、学校は楽しいと感じています。また、友達関係などの悩みを抱えたら家の人に相談する児童が半数 近くいます。

## <学習>

○国語も算数も大切だと考え、学校の宿題をしっかりと回答している児童が90%を超えています。家庭学習の時間は、30分以上1時間未満が最も多いです。読書については、教科書や漫画、雑誌を除いた一日の読書時間は10分以上30分未満が最も多いのですが、全くしていない児童も4分の1近くいます。

○友達の話や意見を最後まで聞ける児童が多い中、自分の考えや意見を発表したり伝えたりすることは得意ではないと感じている児童が多いです。

## <今後に向けて>

上記の結果から、文章を正しく読み取り、自分の考えを書く力に課題があると考えます。語彙が少ない児童の語彙力を高めるために、読書活動にも力を入れる必要を感じます。また、学校生活を通して、自分の考えを話したり、書いたり、みんなの前で発表したりする機会を増やし、自分に自信がもてるように全職員で取り組みます。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みに引き続き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。